

「吉祥院六齋歴史研究会獅子の如く」創刊号の発刊にあたり

六齋を地域自慢に 継承と発展を願う

部落解放同盟京都市協議会
議長 宮崎 茂



Shigeru Miyazaki

このたび「吉祥院六齋歴史研究会獅子の如く」創刊号の発刊にあたり、京都市内の兄弟姉妹を代表して心よりお祝い申し上げます。

さて、吉祥院地区は地域性などもあって、部落解放運動を起ちあげるには、大変難しいところでありましたが、先人たちの努力と当時の行政や教育関係者等の支えをいただくなかで、1980年7月5日、京都市内で11番目の支部として誕生しました。当時、私は市協青年部長として支部オルグに入り、部落解放運動の重要性を青年部の立場から訴えていました。

支部結成の大きな原動力になったのは、吉祥院六齋を保存するのだという住民の強い熱意でした。差別との闘いのなかで生まれ、差別と闘いながら、守り続けてきた伝統芸能を伝承していくことは、部落解放運動に取り組むことと共通したものでありました。その思いを引き継ぎ、今日まで吉祥院支部は、吉祥院六齋と差別撤廃を支部活動の基本に掲げて取り組んで来られました。

私が一番印象に残っているのは、1982年3月2日に行われた「全国水平社創立60周年記念集会」に、全国の仲間等に始めて吉祥院六齋念仏踊りを披露されたとき、満場の拍手が沸きったことであり、その時の保存会の方々や兄弟姉妹の充実感溢れた姿は今でも脳裏に焼き付いています。

六齋念仏をめぐる差別事件は数多くありま

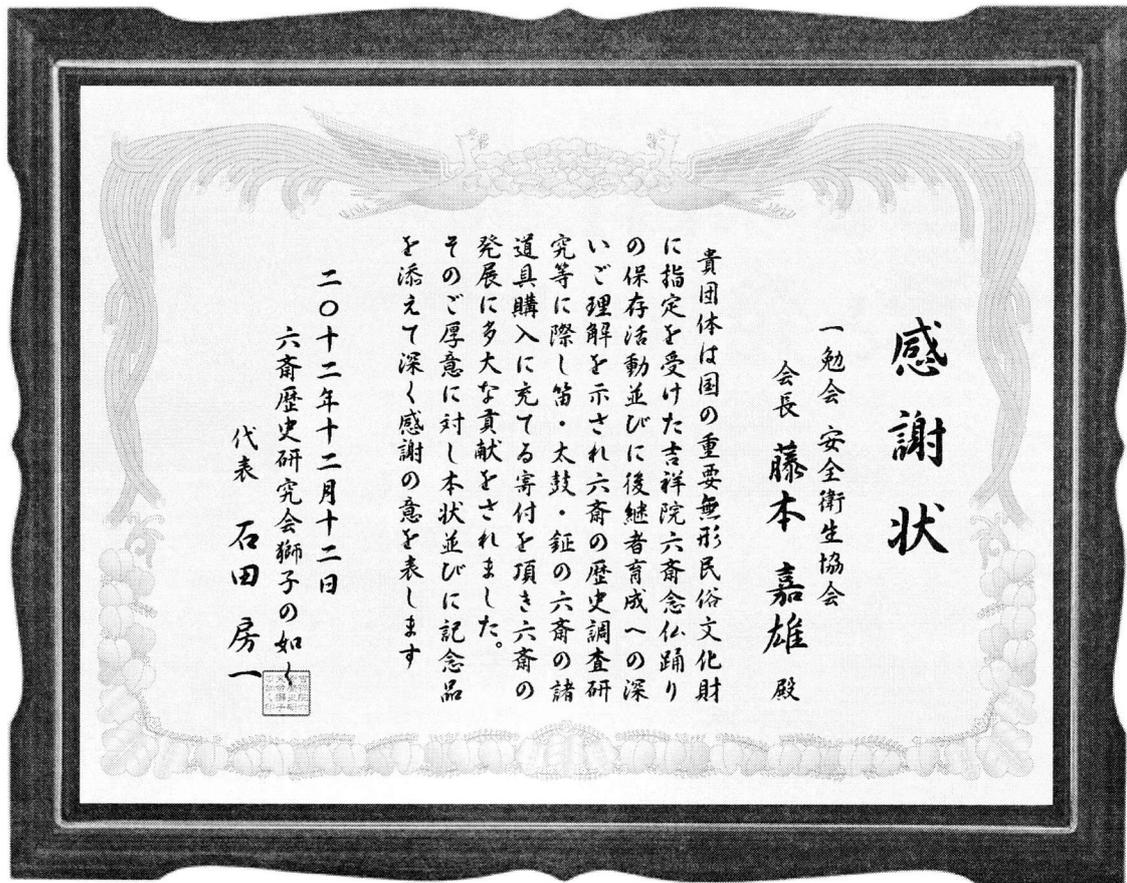
すが、明治17・18年頃に清水寺での奉納踊りで、後に六齋組から「部落の者の後に舞台に登れるか！」との差別発言をきっかけで大喧嘩になった事件がありました。

また、大正初期には小学校に行くにも、他町の子どもはカバンに下駄か靴でしたが、吉祥院部落の子どもたちは、ボロボロの風呂敷にわら草履という状況でした。雨降りの時には「ペタ、ペタ」と音を立てて歩くため、それを見ていた先生から「吉祥院の子は裸足でも六齋している」と揶揄され差別を受けてきました。当時の子どもたちの抵抗として学校の窓ガラスを割り、登校拒否をするといった抗議行動がおこっています。

いま、先輩の方々からの厳しい指導を耐え抜いた青年たちにより「吉祥院子ども六齋会」へと引き継がれています。京都市内には数多くの六齋念仏がありますが、少なからず後継者育成をはじめ多くの課題を抱えています。

そのような中で、吉祥院六齋念仏保存会は、「老」「壮」「青」「子」へと先人の魂を受け着実に伝承されています。

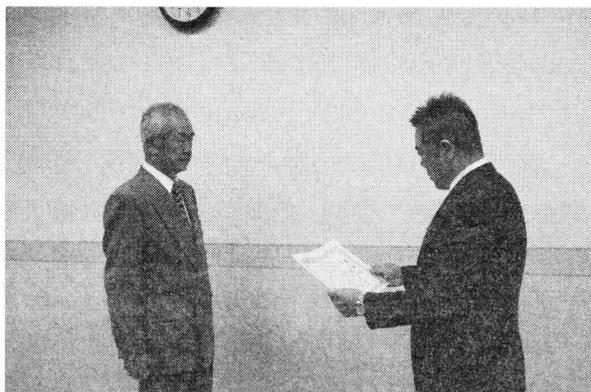
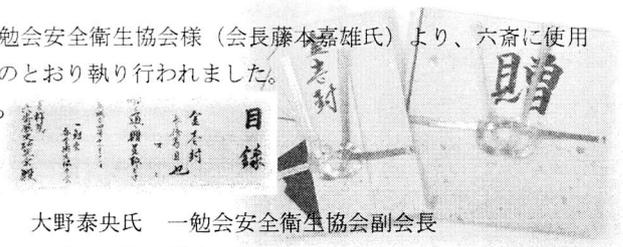
吉祥院六齋は、私たちの誇りであり、京都市民の文化的財産であります。創刊号が幾多の困難を乗り越え、先人が築き上げてきた民俗芸能を「地域自慢」として後世に伝える貴重な語る財産になることを願って、お祝いの言葉とさせていただきます。



◆ 吉祥院六斎保存活動への寄付受領と感謝状贈呈式

吉祥院六斎念仏踊りの保存活動並びに後継者育成に対し、一勉会安全衛生協会様（会長藤本嘉雄氏）より、六斎に使用する諸道具購入に充てる寄付を頂きました。その受領式が次のとおり執り行われました。

- | | | |
|-------|--|--|
| 1 日時 | 2012（平成24）年12月12日（水）午前11時から | |
| 2 場所 | 京都市役所3階応接室 | |
| 3 出席 | 藤本嘉雄氏 一勉会安全衛生協会会長
岡崎 満氏 一勉会安全衛生協会副会長
大村 勉氏 ㈱大安組代表取締役会長
矢吹浩史氏 ㈱大安組常務取締役
林 彰吾氏 ㈱大安組工事部長
宮崎 茂氏 部落解放同盟京都市協議会議長
西出義幸氏 京都市文化市民局長
北田栄造氏 同文化芸術都市推進室課長
石田房一 吉祥院六斎歴史研究会代表
岡本久美子 NPO法人ふれあい吉祥院ネットワーク事務局 | 大野泰央氏 一勉会安全衛生協会副会長
大村安司氏 ㈱大安組代表取締役
西本健二氏 ㈱大安組取締役総務部長
菱田和也氏 ㈱大安組総務部長
北村信幸氏 京都市文化芸術都市推進室担当部長
福持昌之氏 同文化芸術都市推進室文化財保護技師
關 正雄 吉祥院六斎歴史研究会顧問 |
| 4 記念品 | 獅子の如くTシャツ・扇子・手ぬぐい・千社札 | |



寄付受領と感謝状、記念品贈呈式

（左）藤本嘉雄会長 （右）石田房一代表

撮影 岡本久美子（NPO法人ふれあい吉祥院ネットワーク事務局）